

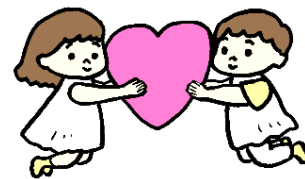
御田小 研究だより

令和2年9月7日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

中学年の人権教育目標

- ★自分のよさに気付き、相手のよさや違いを受け入れられる
- ★友達や様々な立場の人を大切にしながら、思いやりをもって行動する



第3回 研究授業報告

9月2日(水) 4年1組 授業者 加藤 彩乃
道徳科「文字を書く喜び」

【授業のねらい】

- 手足の自由を失ってもあきらめずに文字を書こうとする星野富弘さんの心情を話し合うことを通して、自分の目標に向かって希望をもち、粘り強くやり抜こうとする道徳的実践意欲を培う。

【人権教育の視点】

困難を乗り越えて目標を達成することの意義について考えることを通して、希望と勇気をもって努力しようとする意欲を育てる。

【授業の工夫】



一人一人のよさを引き出す工夫

星野さんの気持ちを自分の言葉で表すことができるように、一人一人の考えをワークシートに表現させました。



学びの実感をもたせる工夫

教師が目標に向かって努力した経験を話すことで、普段から粘り強くやり遂げようとする実践意欲をもちやすくしました。

関わり合いの場の設定

グループや全体の場で友達の考えを聞くことで、自分の考えを広げ、深められるようにしました。



学びの実感をもたせる工夫

学習の後半には、今まで目標に向かって努力したことや目標をあきらめてしまったことを思い出し、目標を達成するためにはどのような思いや考えが大切かを振り返らせました。



〈授業を終えて〉

今回の授業では、不慮の事故で首から下の自由を奪われた星野富弘さんの実話を通して、自分の目標に向かって、努力を続けることの素晴らしさに気付かせることができました。そして、筆者の苦悩や前向きに生きようとする姿に共感させることで、粘り強くやり遂げようとする気持ちをもたせることができました。

今回の授業を生かして、これからも、自分の目標に向かって、粘り強くやり抜こうとする姿勢を育んでいきたいと思っています。

